

# 大学発スタートアップにおける経営人材確保支援（MPM）

## 2025年度採択事業者 調査報告書

2026年3月31日

株式会社みらい創造インベストメンツ

# (1) 事業目的



## 課題

大学発スタートアップでは、優れた技術シーズが存在していても、創業前後の事業開発・資金調達・組織設計を主導できる経営人材が不足しやすく、特にグローバル展開を前提に事業を組み立てられるCEO候補は希少である。また、CEO候補単独では研究者との役割分担や事業推進に限界があり、創業前からCEOを支えるCxO人材を含む経営チームを形成する必要がある。加えて、通常の人材紹介や既存の採用チャネルでは、ディープテック分野で起業を志向する強い経営人材に十分アクセスしにくいという課題があった。

## MPM以前の取組

当社は、東京科学大学との組織的連携を基盤に、九州工業大学、茨城大学、中小機構関東本部、つくば研究支援センター等とも連携し、起業前の技術シーズの事業化支援に継続的に取り組んできた。2023年度MPM事業では、EIR制度を活用し、経営人材の発掘・マッチングを進めるとともに、経営人材に求められるスキルやマインドセットの仮説検証を行った。その結果、CEO候補人材は一般的な採用サービスよりもリファラル型のネットワークで獲得しやすいこと、また創業前から事業開発を伴走することで大学発スタートアップの立ち上がりを加速できることが示唆された。

## MPMで目指す姿

2025年度加速枠では、2023年度の成果を踏まえ、EIR制度の有効性をさらに発展させ、CEO中心の単独型支援から、**CEOとCxOが補完し合う「チーム型EIR」**へ進化させることを目指した。具体的には、強いリーダーシップを持つCEO候補を中核に、COO・CFO・CTO等のCxO候補を創業前から組み合わせ、グローバルで戦える大学発スタートアップの創出を図る。また、リファラル、upto4、東京科学大学MOT等を通じて人材プールを拡張し、創業前から海外パートナー開拓、顧客検証、資金調達準備までを並行して進めることで、グローバル展開を前提とした創業モデルの標準化と再現性向上を目指す。

## (2) 事業概要

| 実施項目                                 | 取組概要                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①経営人材の発掘・育成                          | <ul style="list-style-type: none"><li>CEO候補についてはリファラル型Executive Networkを中心に厳選し、CxO候補についてはMPM既存ネットワーク、upto4、東京科学大学MOT連携等を活用して幅広く発掘した。採用後は、キャピタリスト業務を通じたOJT、メンターからの月次フィードバック、大学連携講座等により、経営人材の質の担保と向上を図った。</li></ul> |
| ②経営人材と大学等の技術シーズ・大学発スタートアップのマッチング機会創出 | <ul style="list-style-type: none"><li>大学シーズ保有者や大学発スタートアップと経営人材との間で、出会い、関係構築、意思決定の各フェーズを意識したマッチングを実施した。特に加速枠では、CEO候補とCxO候補のチーミング支援を強化し、キャピタリストが議論設計・事業仮説整理・資本政策・海外展開戦略の壁打ちを行うことで、創業前の関係構築と意思決定を前進させた。</li></ul>    |
| ③経営人材として経営参画するための環境整備                | <ul style="list-style-type: none"><li>EIRとの業務委託契約、柔軟なエフォート設計、オフィス環境の提供、月次フィードバック体制等を整備し、経営人材が創業前から継続的に関与しやすい環境を構築した。加えて、知財、契約、報酬、将来的な株式保有の考え方等について事前整理を進め、フルコミットまたは経営参画へ移行しやすい制度設計を行った。</li></ul>                 |
| ④取組内容及び実施結果等についての自己分析及び報告会等への参加      | <ul style="list-style-type: none"><li>月次レビューを通じて、経営人材の活動状況、関与スタートアップの進捗、KPIの達成状況、定性的フィードバックを継続的に収集した。その上で、成功しつつある案件に共通する要因を、経営チーム構成、支援フェーズ、外部投資家・大企業の関与、グローバル展開準備等の観点から整理し、再現性の高いチーム型EIR支援モデルの標準化につなげた。</li></ul> |

### (3) KPI

| KPI                                              | 種別         | 目標値<br>(人/件数) | 実績値<br>(人/件数) | 備考                                                                         |
|--------------------------------------------------|------------|---------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------|
| <b>マッチング創出数</b>                                  |            |               |               |                                                                            |
| イベントや個別紹介等の「出会い」に参加した経営人材の数                      |            | 30            | 92            | EIR9名を雇用。東京科学大学MOT連携講義に18名(内3名EIR)、イベントに66名が参加。                            |
| 「出会い」を経て、具体的な伴走支援等の「関係構築」に進んだ経営人材の数              | SU創出       | 10            | 11            | EIR9名がそれぞれ大学発スタートアップ創業に向けたプロジェクトに参画し、創業準備・事業計画策定を実施した。EIR以外で2名が創業案件に関係構築した |
|                                                  | 設立済みSUへの参画 | -             | 1             | MOT講義参加者と設立済みスタートアップとの関係構築が進展した。                                           |
| 「関係構築」を経て、スタートアップの設立もしくは経営への参画等の「意思決定」に至った経営人材の数 | SU創出       | 2             | 5             | 創業または経営参画に係る意思決定に至った人材は5名となった。創業前段階から役割や参画形態の整理を進めた。                       |
|                                                  | 設立済みSUへの参画 | -             | -             | SU側から参画打診をしたが、参画には至らなかった。                                                  |
| 大学等の技術シーズを起点に、設立に至った大学発スタートアップの数                 | SU創出       | 2             | 2             | 2025年12月に1件、2026年1月に1件、合計2件が創業に至った。                                        |
| <b>大学発スタートアップ支援数</b>                             |            |               |               |                                                                            |
| 経営人材が関与することとなる大学発スタートアップの数                       | 設立済みSUへの参画 | 2             | 2             | 経営人材が関与する大学発スタートアップ数として2件を計上。                                              |